

令和8年新春特別展

子規の友人・

俳味画家

下村為山

令和7年12月20日(土)～令和8年2月2日(月)

休館日…火曜日(令和7年12月30日を除く)

開館時間…午前9時～午後5時(展示室入場は午後4時30分まで)

会場…松山市立子規記念博物館 3階特別展示室

観覧料…個人250円 団体200円 65歳以上125円 高校生以下 無料

《学芸員による関連講座》

演題…「書簡から見る下村為山」

日時…令和8年1月18日(日) 午後2時～3時30分

会場…1階視聴覚室 ※聴講無料

《ギャラリートーク》

日時…令和7年12月27日(土)、令和8年1月31日(土)

ともに午前10時から50分程度

会場…3階特別展示室 ※聴講には観覧券が必要

松山市立子規記念博物館

Tel 089-931-5566

T 790-0857 松山市道後公園 1-30

<https://shiki-museum.com>



令和8年新春特別展

子規の友人・俳味画家

下村為山

しもむらいざん すみたか

下村為山(純孝)は、明治から昭和にかけて活躍した松山市出身の画家で、松山市章のデザインに携わった人としても知られています。為山は子規より2歳年上の友人で、為山と子規は絵画と俳句の分野を超えて互いに刺激し合います。子規が病の中にあっても俳句革新に挑み続けたように、為山は生涯をかけて新たな画境「俳味画」に挑戦しました。

為山は、1865(慶応元年)年、松山市三番町で松山藩士下村家に生まれました。17歳で上京、洋画家を目指して画塾「彰技堂」や「不同舎」に入ります。第3回内国勧業博覧会に出品した「慈悲者殺生」が褒賞を受け、新進気鋭の洋画家として注目されました。

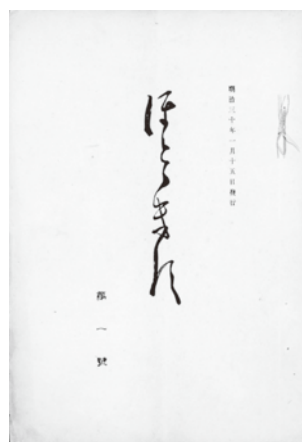
1890(明治23)年、為山は子規と知り合ったことで大きな転機を迎えます。俳句に心惹かれた為山は、洋画と並行して俳画の研究に没頭しました。一方で、為山も子規に大きな影響を与えています。子規は、為山ら洋画家の友人から洋画の「写生」を学び、俳句革新に応用しました。子規没後、為山は帰郷して「写生」を活かした新しい俳画の創造に苦心しました。為山はこれを「俳画」ではなく「俳味画」とあるとし、独自の画境を拓きます。1915(大正4)年頃からは東京に移り、数々の俳画を描き名声を高めました。一方で、為山は子規没後も子規派俳人たちと繋がりを持ちつづけ、彼らの雑誌や句集の装丁を手掛けています。本展では、為山の絵に子規が句を添えた「一画一句帖」や、明治から昭和にかけて描かれた為山の俳味画、為山がデザインを手掛けた雑誌や句集を一堂に展示します。洋画家としてはじまり、子規と俳句との出会いを機に、独自の「俳味画」を打ち立てた松山の画家・下村為山の魅力に迫ります。



下村為山画・正岡子規句「一画一句帖」
(明治26年5月)



下村為山画「賀茂川風景」〔株式会社タニグチ所蔵〕



下村為山題字『ほとゝぎす』創刊号



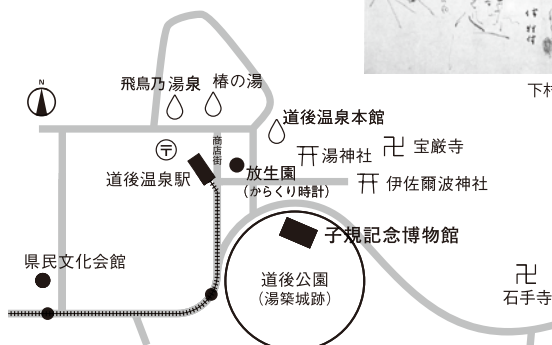
下村為山画「松風会会員図」(明治27年)



下村為山写真
(明治30年)



下村為山画「杉と鳥」



松山市立子規記念博物館

TEL089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園 1-30

施設運営・管理／株式会社レスパスコポレーション

<https://shiki-museum.com>

交通案内：道後温泉駅より徒歩5分 道後公園駅より徒歩5分

*公共の交通機関をなるべくご利用ください

